

「いつまでも住み続けたいと思う街」

# そんな街づくりを 進めていきます

土岐市長 大野信彦



このたびの市長選挙におきまして、市民の皆さまの温かいご理解とご支援をいただき、今後4年間、市政を担当させていただくこととなりました。

この厳しい選挙戦を通して、市民の皆さま方の土岐市改革への熱い期待を強く感じ、その責任の重大さに身の引き締まる思いであります。

私は、この選挙戦におきまして、土岐市の活性化と行財政改革について、お約束をさせていただきました。

わが国の経済は、「いざなぎ景気」を超えて好況といわれておりますが、本市におきましては、基幹産業である陶磁器産業が、中国の猛烈な追い上げを受け、危機的な状況にあります。これからも土岐市が陶磁器産業だけの街であり続けることは、極めて困難な状況にあります。

しかしながら、長い歴史と伝統を持つ美濃焼産業は、土岐市の原点であり、市民の誇りであり、文化であり、地域にとって大きな力でありま

す。今後は、美濃焼産業の振興を図りながら、新しい企業を誘致し、産業の複合化を進めていくことが、地域活性化の重要な課題であると考

えております。美濃焼産業の振興につきましては、販路開拓事業への支援、デザイン研究、後継者の育成、各地域で行われるイベントへの支援、陶磁器試験場の充実などに努めるとともに、産業観光の一層の推進を図ってまいりたいと考えております。

企業誘致につきましては、恵まれた立地条件を生かして、土岐プラズマ・リサーチパークへの誘致のほか、現在、市が保有する未利用の公有地を活用し、誘致を進めてまいりたいと考えております。誘致に当たりましては、市の姿勢が重要でありますので、立地条件の整備を図るとともに、関係機関との連携を深め、自ら先頭に立って、積極的に進めてまい

る所存であります。また、商業振興として、土岐市の玄関として、土岐市駅周辺、新土岐津線の整備促進に努めてまいりたいと考えております。そして、行財政改革であり

ますが、今、地方の行財政を取り巻く環境は、極めて厳しい状況にあり、国、地方とも巨額の財政赤字を抱え、財政再建が最も重要な課題となっております。

本市におきまして、上下水道事業を積極的に進めた結果ではあります。平成18年度末で4百数十億円の市債残高があり、実質公債費比率も21%と高い水準にあります。

急速に進む少子高齢化の流れの中で、行財政改革を着実に実行し、より効率的な行財政運営に努め、財政の健全化を図りながら、自立可能な自治体を目指さなければなりません。市民の目線から、すべての事務事業の見直しをすることにより、これ

から必要となる福祉・医療・教育など市民生活に直結した財源を確保する必要があります。みどり・美濃焼を守り、活力ある土岐市をつくり「いつまでも住み続けたいと思う街」にするために、全力を挙げて取り組む所在であります。市民の皆さま方の一層のご理解、ご協力を心からお願ひ申し上げる次第であります。

